

地球環境
ノート
VOL. 20

「北海道発・地球環境ノート」は、「持続可能な社会」を実現するために、地球温暖化防止に向けた温室効果ガス6%削減の取り組みをはじめ、今すぐ実践できる“地球にやさしい生活”をシリーズで幅広くお伝えします。

シリーズ「地球環境ノート」は、
今回から、エコリス君たちが住む
「エコロジ村」を舞台にお届けします。
この村の自慢は、きれいな川と、おいしい水。
それが、どんなふうに使われているかを
お伝えします。

わたしたちは、毎日たくさんの水を使っています。キッチンやお風呂、トイレなどで流す水（生活排水）は、1人1日約200リットルといわれています。それとは、下水処理場などで処理したあと、川や海へ流されます。やがて水蒸気になって空に昇り、雨や雪になって地上に降り、川になります。そして浄水場を経て、再び生活用水として、わたしたちのもとへ戻ってきます。

豊かな自然は、水をきれいにする力があります。わたしたちが流した水も、川や海、大地、地下をめぐりながら、少しずつきれいになります。どういうことかというと、川や海や土の中の微生物が、水の汚れを分解し、きれいにしてくれるのです。しかし、自然の浄化能力を超えて、汚れた水を大量に流すと、水はどんどん汚れてしまい、魚や貝は生きられなくなり、人も病気になるってしまいます。

生活排水の多くは、キッチンから出ています。キッチンでの行動を見直して、きれいな水を守りましょう。料理は、食べきれない量をつくり、残さず食べるのが基本。生ゴミを流さないよう水切り袋などを使う、食器などにこびりついた汚れはゴムベラなどで取ってから洗い、油はリサイクルに出すか要らない紙に吸わせて捨て、お米のとき汁は桶へ水にあげるなどの工夫をしてみませんか。

洗剤は、水中の微生物によって水とCO₂に分解されますが、使い過ぎは禁物です。必要以上にたくさん使っても汚れ落ちは変わらないので、適量を汚れてしまうようにしましょう。シャンプーやリンスなども同様です。また、水は大切にしたいもの。お風呂の残り湯は捨てずに洗濯に利用し、歯磨きやシャワーのときに水の流れっぱなしにしないことも、立派なエコです。

きれいな水は
ぼくらの宝ものさ

きょうは川にハイキング
川の底までクツキリ見えて
魚さんも泳いでいるよ
水はみんなの宝もの
これからもしっかり守って
いかなくちや

ナイクマ
遊んでいる、やさいい結構。
たのしみさっも僕もよく
うふよ。

●リサイクマ
クマに似ている、やさしい妖精
こわれたオモチャも根気よく
通しちゃうよ。

●エコンタ
キタキツネみたいに、かしこい妖精。
いろんな生き物に変身できるよ。

ボクとエコロジ村の
仲間たちみんなで
エコでためになる情報を
紹介していきます！

●エコリス
エコロジ村一番の人気者。
エコリスに倣っているのが自然
エコについて勉強中です。
よろしくね!

●村長／チエブクロウ
シマブクロウに似た、
エコロジ村の村長さん。
ものしりで、いろんなエコを
教えてくれるよ。

● ショーエネコ
 ちょっとなめこ型紙模
 アイデアがひらめくと、
 ぬかやふがアツクもつ

川と生きる知恵を
子どもたちに

河川保護団体
「リバーネット21ながぬま」
の取り組み



事務局長の
山本隆幸さん

「きれいな川と暮らす」基金とは、ライオンが清流・トプの湧き上げの森をこの基金の支援費を用いて提供し、社団法人本河川協会を通じて環境を守る団体（国・自治体）を行う。今年度の助成金は、約20件。



馬淵運河ごみ拾い(2008年6月21日撮影)

※参考資料：環境省「子ども環境白書2009」、ライオン（株）ウェブサイトほか

hokkaido-eco

搜索

企画制作／北海道新聞社広告局 後援／環境省